夏を彩る

祭りだ！祭りだ！

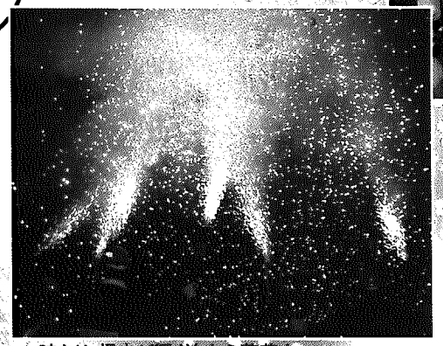
和納十五夜祭り

7月27日(日)・28日(月)

27日は、恒例の民謡流し。岩室音頭と岩室甚句で和納の大通りに踊りの華を咲かせました。28日は、棒遣いを先頭に、神輿渡御が三社神社から住吉神社までを練り歩いた後、和納小の金管バンドに子どもみこし、打上花火へと続き、クライマックスは『草花火』と『仕掛け花火』。全国でも珍しい花火囃子とともに、和納の伝統芸能が披露されました。

▲和納小金管バンドパレード

▲活気あふれる子どもみこし



▲時おり、爆音が響く迫力の草花火

◀りりしい姿の棒遣い

◀民謡流しで披露された神楽の舞

◀大通りを練り歩く神輿渡御

篠笛教室がデビュー!!

和納十五夜祭り

『草花火』の花火囃子に欠かせないのが篠笛の澄んだ音色。今年は村の文化財を後世に伝えようと始まった「篠笛教室」で練習を積んできた人たちが参加し、先輩の太鼓やほら貝に励まされ、ハッピ姿もりりしく「花火の拍子」をつとめました。心おどるお祭りが終わるとまた来年に向け、静かな練習が始まります。

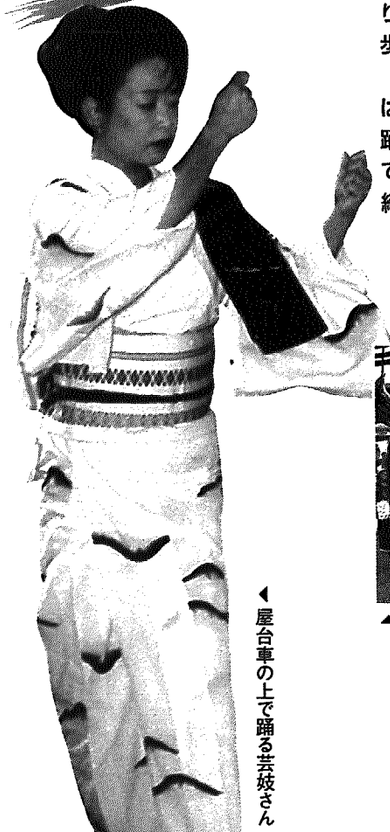
▲先輩たちとまつりの本番に臨む篠笛教室のメンバーたち

岩室温泉祭り

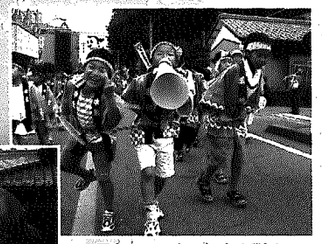
7月29日(火)・30日(水)

29日は、岩室小の金管バンド行進で始まったまつりは、夕闇の中を伝統神輿渡御の行列が温泉街を練り歩いた後、スターマイン大会へと続きました。

30日は、子どもみこしから、芸妓屋台踊り。今年は屋台の後に、25名の芸妓さんが勢ぞろい。華麗な踊りで沿道の見物客を魅了しながら、続く若者みこしでまつりは最高潮に達し、最後は中国製仕掛け花火で締めくくりました。



◀屋台車の上で踊る芸妓さん



▲元気いっぱい台車を引く子どもたち

▲岩室小金管バンドの演奏

あでやかな芸妓さんたちの踊り▶

新潟まつりに岩室甚句がお目見え

新潟市と広域合併を目指す近隣12市町村の郷土芸能が先月8日、「新潟まつり」2日目のまつり行列に初参加。岩室村は古町通7のアーケード内において、36名の芸妓さんが岩室甚句を披露し、優雅な躍りで沿道の市民らを魅了しました。

◀岩室村の観光PRをする坂爪村長

芸妓さんたちの踊りに▶新潟市長も大満足

◀古町モールで岩室甚句を踊る芸妓さんたち

岩室甚句を次世代に！盆踊り大会

先月15日、岩室温泉「ゆもとや」駐車場において、岩室甚句盆踊り大会が行われました。これは、昔ながらの岩室甚句を次代に受け継ごうと、大字岩室の有志が集まって企画。昨年、約20年ぶりに復活したものです。会場にはやぐらが組まれ、辺りが暗くなるにつれ、浴衣姿の観光客や帰省客らが次々と集合。訪れた多くの人は懐かしそうに岩室甚句を踊ったり、手ぶりをまねたりしながら、楽しいひとときを過ごしていました。

▲浴衣姿で踊る参加者たち